

## 広告

青山 晴江

網棚の上ぐるりと張り巡らされた  
山手線車内のデジタル広告  
次々と変わる液晶画面を  
乗客は——わたしも  
ぼかんと見ている

くるくる回る自動掃除機  
出がけのおしゃれにドライヤー  
「お疲れさま」と差し出されるコーヒーマ  
大手建設会社のマイホーム

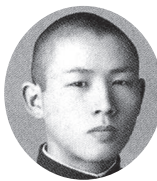
何度もいくども  
くりかえされて  
窓の景色も見ないで  
動く液晶に視線は泳ぐ  
ぼかんとして  
何も考えないで

### ▶この詩と作者について◀

青山 晴江（あおやま・はるえ）

1952年東京生まれ。葛飾区在住。80年、日本文学学校・菅原克己の詩の組会に参加、詩誌『P』の同人となり現在に至る。詩集『父と娘の詩画集—ひとときの風景—』（2006年 西田書店）、『ろうそくの方程式』（2016年 土曜美術社出版販売）。日本現代詩人会会員。詩誌『つむぐ』『いのちの籠』に参加。その他の活動として、新宿西口反戦意思表示、たんぼぼ舎・原発再稼働阻止全国ネットワークボランティアなど。

### ▼表紙絵の作者 ▲



大竹 武雄  
（おおたけ・たけお）

1924（大正13）年2月12日、東京に生まれる。本籍は群馬県新田郡世良田村大字徳川。日本大学付属中学を卒業後、40（昭和15）年4月、東京美術学校（現東京芸術大学）日本画科に入学。43（昭和18）年12月1日、学徒出陣で応召。動員された美術学校の学生の中では最年少だった。高崎第15連隊に配属され、同12月4日、出征。45（昭和20）年9月4日、満州（中国東北地方）の奉天市関東第三陸軍病院において胃腸炎のため戦病死。享年21。

そう 何も考えさせないで

この国がかつて

あした負けるとわかつていいる戦に

若者を出兵させたこと

この国はいま

軍事化に走り 核武装のために

あした爆発するかもしれない原発を

それでも動かすこと

ひたすら明るい商品を

ひらひら差し出す

広告主の狙いは

消費者の懐か

いや もう一つの眼が

デジタル画面の深部から

暗く覗き見ている

彼の

ターゲットは すでに

わたしたちのいのち

### 意見広告運動の集会のご案内

半田滋さん（東京新聞論説兼編集委員）、西郷南海子さん（安保法制に反対するママの会）を講師にお招きして集会を行います。

憲法違反の安保法制下の自衛隊はどうなるのか？ 市民がみずからの力で選挙情勢、政治を変えるには？

ぜひお二人の話を聞きにいらしてください。

\*日時 3月16日（土） 13時30分～16時30分

\*場所 港勤労福祉会館 第1洋室

（JR田町駅西口より徒歩5分、地下鉄都営三田線・浅草線三田駅A7出口すぐ）

\*定員100名 資料代500円

\*主催 市民意見広告運動